



最終年を迎える橋梁点検

○不妊治療費助成事業

【池田議員】不妊治療助成の実人数、金額は、また対象者は情報をどこで受取っているか。

【いづも課長】実人数9人、人工授精4人、不育症1人、金額は上限5万円。情報については県が主である。

○道路橋梁費

【野口昌議員】橋梁定期点検の状況は。

【建設課長】橋梁点検は平成30年度が5年目で最後。

その結果をもって、平成31年度に修繕計画の見直しをする。

討 論

●反対

【近藤議員】平成29年度、竹口町長となり、3歳以上保育料の無償化や、高校生の通学費助成などは、高く評価したい。

一方、行財政改革は、進んでいないと考える。公社、観光局への委託・補助は、大きな問題があると、決算審査特別委員会報告のなかで意見もある。いずれも、実質的な赤字補填がされている。

観光局は、町発注事業で本町に損害を与えておきながら、謝罪もしない管理体制を見て非常に腹立たしく思う。【大森議員】保育料や通学費、学校関係の整備などで、評価する。同和対策事業について総額約9000万円が支出されている。同和対策については、国を挙げての約30年の取り組みで一定程度改

善されたものと考えている。現状課題があるのであれば、一般施策としておこなうべきである。

○賛成

【大杖議員】町長が執行したはじめての決算。予算化されたものをこなし。合格点と考える。公社については、町内の農海産物の販売を通じて、町の発展に寄与するものと考えている。

観光局の体制については決算審査特別委員会としても意見として強く求めている。1300年祭に関連し、訪れる方が大きく増加している。特に和傘の大献灯は、大盛況であった。こういうことを存知のうえで、成果がないとの発言だと思いが、中身をもう少しみて欲しい。観光局は、少ない人員でよくやっている。

○住宅新築資金貸付特別会計決算認定

●反対

【大森議員】不適切な貸付が行われた結果、返済困難な例が多く発生し、約2億9000万円の滞納。徴収努力は認めるが、今後何十年もこの状態となる。賛成出来ない。

○夕陽の丘神田特別会計決算認定

●反対

【門脇議員】本来特別会計の設置は、一般会計と別として収支をはっきりさせるもの。宿泊廃止の条例は否決となり、しかし特別会計は廃止に。この状態は議会の議決によるものであるが、不適切で認められない。

○国保診療所特別会計決算認定

●反対

【近藤議員】大山診療所について。町民の健診センター化へで、人間ドックをということだった。平成29年度に取りやめたという説明もないままに計画変更。見直すことは良いが、2000万円の税金が投入された説明責任や、取り組みの総括がなされておらず、反対。

○賛成

【加藤議員】2000万円の投資が無駄になるといわれるが、医療機器はなくなるわけではなく、これからも住民のために有効に使われる。反対する理由は無い。